

平成27年8月17日に埼玉県さいたま市から越谷市にかけて  
発生した突風について  
(気象庁機動調査班による現地調査の報告)

8月17日15時20分頃、さいたま市岩槻区大字野孫（いわつきくおおあぎのまご）から越谷市大字野島（おおあぎのじま）で突風が発生し、住家の一部損壊や樹木の枝の折損などの被害が発生しました。

このため、熊谷地方气象台は職員を気象庁機動調査班（JMA-MOT）として派遣し、現地調査を実施しました。

調査結果は以下のとおりです。

(1) 突風をもたらした現象の種類

この突風をもたらした現象は、竜巻と推定した。

(根拠)

- ・被害の発生時刻に被害地付近を活発な積乱雲が通過中であった。
- ・被害の発生前後に被害地付近で飛散物を巻き上げながら移動する渦を目撃したという複数の証言があった。
- ・被害や痕跡は帯状に分布していた。
- ・被害や痕跡から推定した風向に回転性を示す部分があった。

(2) 強さ（藤田スケール）

この突風の強さは藤田スケールでF0と推定した。

(根拠)

- ・住家の一部損壊があった。
- ・樹木の枝の折損があった。

※ この資料は、速報としてまとめたものですので、後日内容の一部訂正や追加をすることがあります。